

国民健康保険税 今後2年おきに **増税**

介護保険料など **値上げ方針** 目白押し

(くわしくは中ページ→)

中川ひろし市政報告会 開催!!

狹山市は怎么样了の!?

1月29日 中央公民館ホール 1月30日 狹山台公民館ホールはお陰様で満員御礼!

2月20日(日) 午後1時半~ 堀兼公民館 1Fホール

3月20日(日) 午前10時~ 入曾公民館 3Fホール

3月26日(土) 午後1時半~ 柏原公民館 2Fホール

☎2954-4731 有料橋を渡り、2つ目信号(ケーキ屋さん角)を右折し、すぐ右折 **地図が裏ページに→**

狹山市はどんな現状にあり、今後どうなっていくのか、またどうすべきなのかを(東北地震の狹山市の最新情報と合わせて)分かりやすく説明し、ご来場の皆さんからのご質問に答え、意見交換出来ればと思っております(頂いたご意見を活かします)。ぜひご出席下さい! お知り合いの方をお誘い頂ければ幸いです。(入場無料。事前申し込み不要)



柏原公民館地図

国民健康保険税 年1万6千円増税!?

仲川市長「税率改定は避けられない」?

3月議会質問報告

狭山市民の所得は10年前より大幅に減少しています（10年前 平均所得 390万円→昨年度 330万円。扶養控除される年収 103万円以下のパート労働者は含まず）。

今までと同じような市の税金の使い方では、市民生活や市の財政は行きづまります。狭山市内では平成18年以降、毎年平均35人の方が自殺で亡くなっています（全国統計で1番多い自殺理由は、生活苦です）。

国民健康保険税・介護保険料をこれまで増税し（増税に反対した議員は私含め6人）、国民健康保険税を払えない人（滞納でなく、差し押さえなどしても結局払えなかった件数）は過去10年間で19倍に増えています（平成11年度460件→21年度8650件）。

狭山市は人口15万5千人、予算総額522億円で、国民健康保険に投入している額は11億円。

入間市は人口14万9千人、予算総額386億円で、国民健康保険に投入している額は21億円。狭山市のほうが予算総額はこれだけ多いのに、国民健康保険に投入している額は入間市の半分です。税金を払えない人が今後増えていくと分かっているながら、それでも狭山市は介護保険料を5年後までに25%の値上げ、国民健康保険税は今後4年間のうちに2回の増税で約10%の値上げ（1世帯平均1万6千円に相当）を見込んで、5年後の市の予算額を減らす財政計画を既に作っています。

仲川市長は議会で、国民健康保険税の増税について「税率改定は避けられない」と答弁。18人の議員が予算に賛成しました。

（反対は私含め5人）（1人は予算議会前に議員辞職）

狭山市駅西口開発に1世帯42万円のしわ寄せ

狭山市駅西口開発に269億円（1世帯あたり42万円）をかけたしわ寄せが、いよいよ本格的に出始めようとしています。これまでも障害者入院医療費や難病者手当てが削減されるなど市民の負担は増やされて来ました。今後はその他にも市民が利用する料金の見直しの方針は目白押しです（保育料・学童保育料、公民館・体育施設・福祉施設使用料、健康診断料など）。西口開発の計画に反対し、見直しを求めてきた議員は

24人中6人のみです。選挙できれい事は許されません。

＜今回の記事の根拠となる市の資料を市政報告会の会場で差し上げます＞

議員削減

自治会連合会が求めた

削減数3は否決！2削減に決定

昨年3月、私は市議会に、議員定数（現在24人）を18人に削減する案を提案しました。18人に削減する根拠は、6年前、入間市との合併協議で、狭山市議会は合併後の定数を狭山・入間市合わせて36名にする事を多くの議員が賛成して決定。合併しなかったのですから、36名の半分の18名にすべきと言う提案です。しかし、この案に賛成した議員は3人。本当に合併しようと思っていたかどうかさえ疑問です。合併した市町村では議員数が4割に減っていますが、狭山市は12%しか減っていません（27人→24人）。

狭山市自治会連合会は、市内の自治会長124名中114名の署名入りで、議員数を21人に削減するよう求める要望書を提出した事から、私は昨年12月、市議会に21人に削減する案を提案。その後他の議員から22人にする案が出され、議会でその両方の案の賛否が問われ、自治会連合会が求めている議員定数21案は否決。22の案が可決されました。

法人市民税、市は何と来年度さらに増税

市は平成19年度から法人市民税を、一定基準の会社やスーパー（216事業所）に増税しており（反対した議員は私含め3人）、増税分だけで平成19年度4億5千万円得ていますが、来年度さらに増税する事が既に決まっています。市内企業の存続を心配する声がある中、国では法人税を下げようとしているのに、狭山市は全く逆行しています！

防災対策と地域の高齢者福祉

東北地震発生直後から、選挙準備を取りやめ、停電などの災害対策に、市役所だけでなく、衆議院議員や東京電力とも連絡を取り、全力で取り組んでいます。（「何よりも通勤時間帯の電車の電力を確保する事を国の方針として欲しい。電車を通さないと会社は仕事にならず、今後の日本経済は更に悪化するので、他の電力を削ってでも確保して」などと）

防災対策については、これまで議会で質問し、地域の皆さんの力によって、お陰様で（自治会単位の）自主防災組織の市内組織率は現在71%（88自治会）になり、来年度は市の

事業として、災害が起きた場合手助けが必要な方（高齢・障害者）への対応を、市と自治会(一部)と協力してやっていく事になりました。防災対策というと「狭山は安全だから」と言われる方が実際いらっしゃいますが、実はただ防災の事をやっているだけでなく、「年をとっても、住み慣れた地域で安心して暮らしていける」為に、災害時要援護者への支援を進めていきます。

災害現場にいて、いつも感じるのは、地域の方が互いに声をかけ合っている姿です。今回の地震では、市内での支援活動（募金・物資・移住）をバックアップしています。あたたかい狭山市にしていきたいです。

県議会に挑戦!! 中川ひろし

狭山のために県に行きます！このままでは、困る市民が増える一方です！

狭山市の財政は、ホンダを始めとする工業団地からの税収に支えられています。今後、少子高齢化で、更に地震により経済が悪化する中、企業からの税収が無ければ、狭山市は福祉などの予算を確保出来ず、市民の負担が増えます。今、狭山市の急務である雇用・工業政策、教育などは、県の仕事です。

そのため私は、県議会議員選挙《4月 1日(金)告示、10日(日)投票》への立候補を決意しました。

公約

◆ **“有料橋”（県道 狭山環状道路）の無料化** 工業政策として産業道路の整備は欠かせません。

東京狭山線の1日も早い開通（堀兼で行き止まりになっている所沢への道）

◆ 災害対策の強化（市町村では限界があります）

阪神淡路・中越・中越沖地震、名古屋水害での災害ボランティア経験を活かします。

◆ 国民健康保険の増税に反対

今後、国民健康保険の決定権が市から県に変わる予定。

税金のムダを徹底的に無くせば財源の確保は可能です。

- ◆特別養護老人ホームなど施設整備を県で進めます。
- ◆快速急行の増便 人口減の中、若い人が住み続けられる市に
- ◆教育 学校の夏休みなどを短縮し、授業実施
- ◆県議会 議員削減と報酬削減
- ◆“事業仕分け”を県で実施 ムダづかい改革を強化
- ◆狭山市政の改革 市議候補4人と連携し、狭山市を活性化します。 など

ご意見・ご相談は↓こちらへ

市議会議員 **中川ひろし**

電話 090-3310-9234 hkngw@nifty.com

[kids - dream@docomo.ne.jp](mailto:kids-dream@docomo.ne.jp) FAX 2958-8643

〒350-1306 狭山市富士見1-3-6 クレアメゾン601

後援会資料